

第2章

各計画の概要

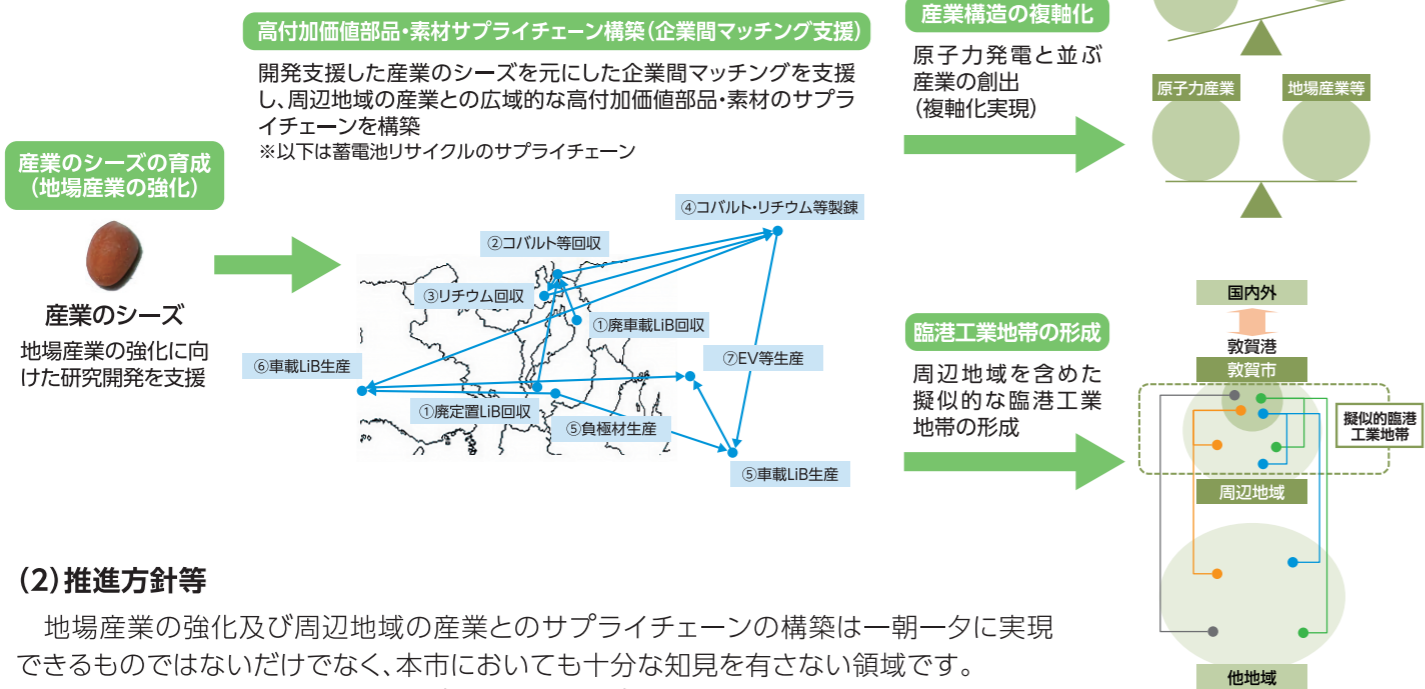
1. 産業間連携推進計画

(1) 目的と方向性

重要港湾敦賀港や立地特性といった固有の優位性と素材産業等の地場産業を活かして、原子力関連産業と並ぶ新たな産業の軸の創出に向けた「産業構造の複軸化」を目的とします。

これに向けては、研究開発支援等を通じた既存産業高度化及び新産業創出とともに、エネルギーの多元化を通じた新産業創出に取組み、周辺地域の産業との間で「新たなモノのサプライチェーンの構築」を目指します。

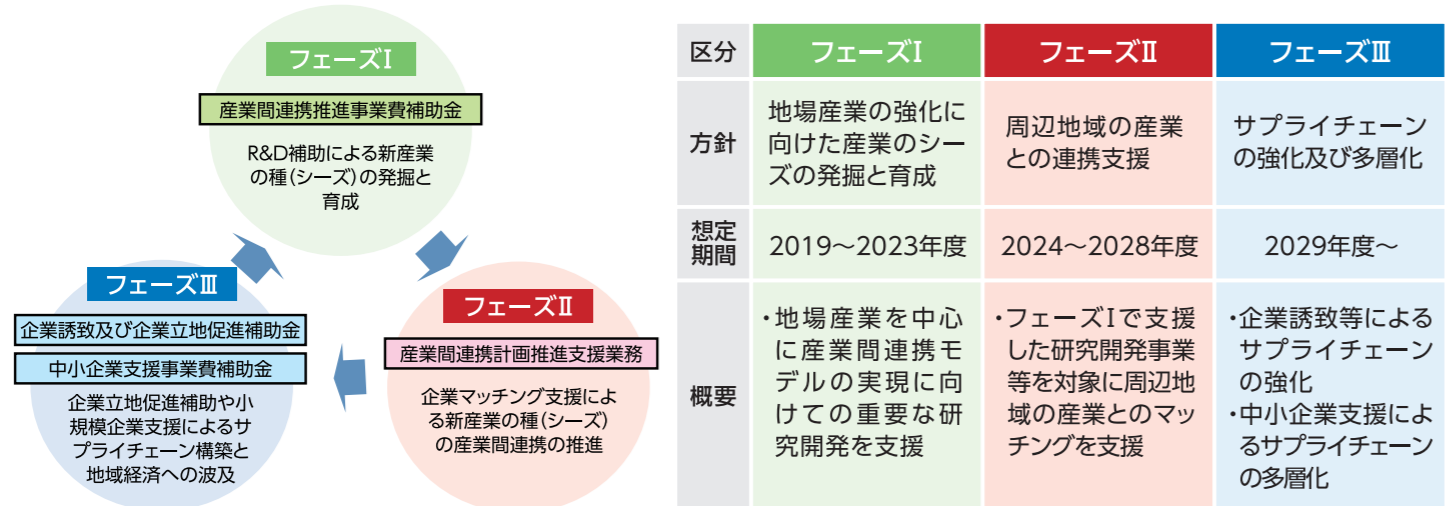
【新たなモノのサプライチェーンの展開イメージ】



(2) 推進方針等

地場産業の強化及び周辺地域の産業とのサプライチェーンの構築は一朝一夕に実現できるものではないだけでなく、本市においても十分な知見を有さない領域です。

そのため、できることからステップ・バイ・ステップで、また試行錯誤の中で進めていかなるを得ないことから、次のような段階的に取組を進めていきます。



(3) 産業間連携モデルと想定するサプライチェーンの概要

研究開発の支援を通じた産業間連携モデルと具体的な事業計画及び想定するサプライチェーンの概要は次のとおりとなります。なお、これらのプロジェクトは、本計画の策定時点で想定したものであり、プロジェクトの進展や環境の変化によって、産業構造の複軸化という目的の達成を最優先し、適宜、追加・修正を行います。

| モデル | 具体的な事業計画 | 概要 | 想定するサプライチェーン |
|--------------|--------------------------------|--|--|
| 既存産業高度化モデル | ①高機能性界面活性剤製品開発プロジェクト | 植物由来界面活性剤を低コスト化する研究開発等を通じて、医薬部外品等の製品開発のサプライチェーン構築を目指します。 | ①植物原料調達 ②BS生産 ③化粧品原料加工 ④化粧品生産 ⑤食品生産 |
| | ②バイオプラスチック製品開発プロジェクト | 植物由来プラスチックを自動車関連部品等の用途で利用する研究開発等を通じて、同製品のサプライチェーン構築を目指します。 | ①植物原料調達 ②BP生産 ③部材生産 ④自動車組立 |
| 新規産業創出モデル | ①蓄電池等リサイクル技術開発プロジェクト | 車載用リチウムイオン電池のリサイクル技術の研究開発等を通じて、同製品のリサイクルサプライチェーンの構築を目指します。 | ①廃置LIB回収 ②コバルト等回収 ③リチウム回収 ④コバルト・リチウム等製錬 ⑤負極材生産 ⑥車載LIB生産 ⑦EV等生産 |
| | ②次世代ディスプレイ開発プロジェクト | 有機ELパネル等の関連部品の研究開発等を通じて、同製品のサプライチェーン構築を目指します。 | ①フィルム原料生産 ②ディスプレイ製造 ③フィルム生産 ④他部材生産 ⑤偏光板生産 ⑥ディスプレイ生産 |
| エネルギー研究開発モデル | ①再生可能エネルギー由来水素ステーション研究開発プロジェクト | 再生可能エネルギー由来水素ステーションの研究開発・運用実証等を通じて、ローカル水素サプライチェーン構築等を目指します。 | ①再エネ等調達 ②水素製造 ③水素供給 |
| | ②リサイクル水素製造プロジェクト | 下水汚泥等の処理時に発生するバイオガスを活用した水素製造等を行い、水素供給源の確保によるローカル水素サプライチェーンの構築等を図ります。 | ①バイオマス資源供給 ②FCフォークリフト等の利用 |
| | ③高効率水素エンジン利用ドローン研究開発プロジェクト | 関西スマートエネルギーイニシアティブが進める、高効率水素エンジン利用ドローンの研究開発を支援し、研究開発拠点化等の実現を目指します。 | ①部材供給 ②ドローン組立 ③製品開発試験、パイロット養成 ④ドローン利用 |